

どうぶつ「うごき」びんご 解説シート



動物のいろいろな動き

- 寝る
肉食動物は狩りが成功しないと食べ物にありつけないため、一方で草食動物はいざという時に逃げるため、エネルギーを節約しようとします。そのため、野生動物は必要な時以外はあまり動きません。
- 木に登る
木の上は大型の動物が登ってくるのが少ない安全な場所。そのため、小さな動物などは、木の上で食べたり、休んだりすることがあります。
- 走る
草食動物は、逃げるために長時間走ることができます。一般的に速く走れる動物は指の数が少なく、ウマは指が1本、ダチョウは2本です。
- 鳴く
鳴き声は、群れ生活する動物には重要なコミュニケーション手段です。また、単独で暮らす動物がなわばりを示すために鳴くこともあります。
- 食べる
草食動物は、1日の多くの時間を食べることに費やします。動物園でも複数回に分けてエサを与えることが多いです。
- 立ちあがる
クマやウサギ、カンガルーなど、後足のかかとをついて歩いている動物は、後足2本で立ち上がることが得意です。
- 泳ぐ
水中は大型の肉食動物が比較的少ない安全な場所。泳ぎが得意な動物は、水をはじく毛や羽、手足の水かきを持っています。
- 跳ねる
相手に対して自分の体を大きく見せたり、敵から逃げる時に動きを複雑にしたりする効果があります。楽しくなると跳ねる動物もいます。
- ぶら下がる
サルの仲間などは、枝などをつかんでぶら下がるのが得意です。また、クモザルはしっぽでぶら下がり体を支えることもできます。



他に見られた動きはあるかな？

動物は、生息する地域や場所に特化した体の作りをしています。動きと動物の体を関連付けて観察するとさらに発見があるかもしれません。